



紹介します！ 幼児教育アドバイザー その②



今回は、新しい幼児教育アドバイザーを紹介します。前号で紹介した13人と合わせて、15名の幼児教育アドバイザーが、みなさんの校園所や施設等にうかがいます。

《名前》 ☆今、興味のあること ♪幼児教育アドバイザーとして、こんなことを感じています
★幼児教育関係者、または、幼児をもつ保護者のみなさんへ一言

①稲塚 由里 (いなづか ゆり)



☆京都。大好きなマクロビオティック料理のカフェや卵不使用でこだわりの材料を使ったパン屋さんが多く、京都で一人暮らしを始めた大学生の息子と一緒に食べに行くのがとても楽しみです。

♪就任以来、本やネット・テレビなどで子育てに関することに目が行くようになり、その中でも国により子育ての常識が異なることに関心をもちました。アドバイザーとして、私自身も広い視野をもつことが必要と改めて思います。

★私の息子は重度の食物アレルギーのため、5大アレルゲンである米・小麦・大豆・卵（鶏卵）乳製品（牛肉）以外にも、魚・そば・落花生、全て完全除去でした。そのため私の子育ての目標は、いずれ親元を離れても自立して生きて行ける自己管理能力（食事管理・体調管理）を育てること、また、「アレルギーは単なる個性のひとつでありオリジナリティを持つことは良いことだ」という自己肯定感を持つこと、さらにアレルギー持ちだからといって最初から諦めないチャレンジ精神を育てることでした。おかげさまで周囲の方々のご理解とご協力を得ながら、息子はたくましく日々成長しております。私の試行錯誤の子育て経験が皆様のお役に立ち、不安を取り除く一助になればとても嬉しいです。

②鎌田 文子 (かまだ ふみこ)



☆太極拳。体の堅さと筋力の低下を実感し、「ゆったりした動きで私にも続けられそう」と挑戦。ところが、なかなか難しく、しかも教わったそばから忘れてしまう始末。でも、5年後の自分を思いえがいてがんばっています。

♪子どもの成長の場に再び関われることは、楽しみであると同時に責任の重さも感じています。園や所の先生方や子どもたち、保護者のみなさんの応援団としてがんばっていきたいと思っています。

★自分の保育や子育てに迷いや不安が生まれたら、一人で抱えこまないで、ぜひ周りの力を借りましょう。アドバイザーにお声かけください。

出前研修や出前相談を、お申し込みいただいたみなさんから『前橋市幼児教育アドバイザー派遣事業』の名称について、「かたい」「かしこまってしまう」などのご意見をいただきました。

そこで、まえばしの子どもたちを共に育む校園所のみなさんにもっと、親しみを感じていただけるように…
もっと、気軽にお申し込みいただけるように…
愛称を考えました。

チームまえばし 保育サポート事業

いかがでしょうか？ よろしくお願いたします。

前橋市総合教育プラザ 幼児教育センター

